

株式会社

サンキョウエンビックス



弊社は、環境管理支援業務及び環境コンサルティング業務をおこなっている会社です。具体的には、工場の煙突の煙や工場から出る排水が公害の基準を満たしているかどうかを見るための測定分析をはじめとし、工場が抱えている環境に対する問題の解決や改善をしていくためのお手伝いをしています。環境問題の解決は、私達だけで対応できない部分もたくさんあります。身近なお客様や社会の要望に対し、勉強しながら更に役立つ会社になりたいと考えています。

今回は、弊社自慢の委員会活動を紹介します。弊社では、『明るく楽しく活気ある職場、笑顔ある職場』を目指して、3つの委員会を設け、社員中心の活動を実施しています。

【会社概要】

設立：1972年2月、資本金：1000万円、代表者：有松修一、社員数：28名、所在地：岡山市南区米倉。ISO9001、ISO/IEC17025、エアアクション21取得。関連会社：(株)環境総合研究機構。

【事業内容】

○環境コンサルティング業務

■ISO構築支援、CFP・環境ラベル表示支援

■環境影響評価、作業環境測定、大店立地申請サポート、LCA

■環境情報開示

○環境管理支援業務

■環境調査分析（大気、水質、悪臭、騒音振動）

■土壌汚染調査、その他依頼分析

1つめは環境委員会です。社内では省エネ・省資源活動を、社外では絶滅危惧種であるダルマガエルの保護活動や児島湖の一斉清掃に参加するなどの取り組みをしています。ダルマガエルは、岡山市の大野地区に多く生息していますが、近年多くのお店が建てられたことによりカエルの住処が少なくなってきました。私たちも店舗の開発に関わっていることから、ダルマガエル保全プロジェクトに参加されている皆様と一緒に保護活動に取り組んでいます。児島湖の清掃は、年1回9月の日曜日に実施されますが、これに全社員が自主的に参加し、ゴムボートを持ち込むなどして頑張っています。



ダルマガエル保全活動

2つめはAP委員会です。この委員会は社内を元気にするイベント等を中心に活動しています。社内の清掃は全員で毎朝、地域（主に町内）の清掃は年に6回程度実施しますが、残業がある人も手を止めてでも実施するようになりました。その他には、社内研究発表会や子供参加OKの社内運動会、お花見など、楽しめる企画を立て社内の活性化に大きな役割を果たしています。



町内清掃

3つめは、安全衛生委員会です。弊社のテーマでもある『ワークライフバランス』を充実させる上でも、まずは、元気であることです。社員の健康管理や職場の安全対策、避難訓練などに取り組み、また社員の精神的な面での援助プログラム「EAP」と言う仕組みの導入など、アイデアを盛り込みながら活動しています。このような社員中心の委員会活動こそが、弊社の持ち味であり、会社の発展の原動力になると思っています。社員の成長やモチベーションアップにも繋がっています。これからも、仕事でも環境関連活動でも、地域社会に貢献できる企業を目指し、委員会活動を続けていきたいと思えます。



分析室